

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	福井大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フクイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中部地方(愛知県を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	長期インターンシップ
	学部・研究科等名	福井大学大学院工学研究科
	担当教職員名・役職	受講学生の指導教員・派遣型大学院工学教育実施委員会委員
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	3
受入企業等数	40	
受入企業等名	NTTコミュニケーション科学基礎研究所／日本電信電話株式会社 ／公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター／株式会社アイ・オー・データ機器 他	
インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 3.海外インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ 11.その他	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	平成29年度より、長期海外インターンシップも始めた。	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前に企業との打ち合わせを行い、長期インターンシップの計画を策定している。この中で、業務従事やグループワークなどインターンシップでの就業体験を確認している。また、終了後の成果報告会でのプレゼンテーションを通して、実際に行った就業体験を報告させている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	M1年次、Dr1・2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	4単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	修士論文・博士論文で多忙となる最終学年を出来るだけ避けるように指導している。概ね2か月を目安とする長期インターンシップであるため、4単位を付与している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している 2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	説明会にての趣旨の周知、キャリア支援室によるマナー講座
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	成果報告会を実施し、インターンシップの内容の報告を行わせる。報告書を提出させ成果報告書にまとめている。他に、優秀学生の選出、企業へのアンケートの実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	派遣先業務に支障のない範囲内で教員が企業に赴き、学生や派遣先指導者と面談を実施し、コミュニケーションを欠かさないようにしている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	成果報告会を実施し、派遣学生に実施内容に関するプレゼンテーションを行わせ、実施母体である派遣型大学院教育実施委員会委員出席のもと質疑応答を行い教育的効果を確認している。成果報告会での評価をもとに、単位認定を行っている。併せて、優秀学生の選出を行い表彰している。これらの内容については、成果報告書に毎年まとめている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	概ね60日(2か月)
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業への派遣期間で概ね60日
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業にてまとめの報告会があった際など、指導教員が出席する。終了後、企業にアンケートを実施し評価を依頼している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://syllabus1.sao.u-fukui.ac.jp/">https://syllabus1.sao.u-fukui.ac.jp/</a> 長期インターンシップで検索
問い合わせ先	大学等名	福井大学
	担当部署名	工学部支援室人事財務担当
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	0776-27-9747
	メールアドレス	Kougakubu-jinjizaimu@ml.u-fukui.ac.jp